

鎌倉時代から現代までを通覧する、
初めての大规模きもの展!

日本の美意識を色と模様に表示した「きもの」。その原型である小袖は、室町時代後期より、染や刺繍、金銀の摺箔などで模様を表し、表着として花開きました。美しく彩られたきものが着用され始めた江戸時代、町を行き交う人々がファッショニスタでした。明治・大正時代には、型友禅や銘仙など近代的な技術を駆使したきものが流行。戦後、きものはモードの一线を離れ、現代アートを志向するデザイナーが登場しました。きものは、現代に至るまで多様に展開しながら成長し続ける日本独自の美の世界を体現しています。

本展では、信長・秀吉・家康・篤姫など歴史上の著名人が着用したきものや、尾形光琳直筆の小袖に加え、「観楓図屏風」「婦女遊楽図屏風(松浦屏風)」など、国内外から200件以上の作品が一堂に会します。800年以上を生き抜き、今なお新たなファッション・シーンを繰り広げる「きもの」を、現代に生きる日本文化の象徴として展覧し、壮大な歴史絵巻を繰り広げます。質・量ともに世界最大のきものコレクションを有する東京国立博物館で開催する、空前絶後のきもの展です。

光琳直筆「冬木小袖」が登場!



重要文化財

小袖
白綾地秋草模様
尾形光琳筆
江戸時代・18世紀
東京国立博物館蔵

ベルサイユ風
振袖!



振袖
淡紅綸子地宮殿模様
昭和時代・20世紀
千葉・国立歴史民俗博物館蔵

信長・秀吉・家康や篤姫など
歴史上の著名人の衣装も多数

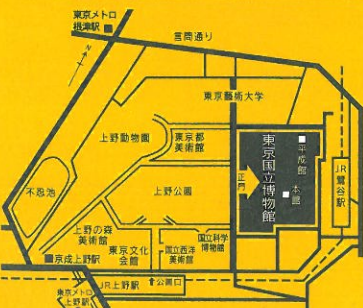


小袖 萌黄紋縮緬地
雪持竹雀模様
天璋院篤姫所用
江戸時代・19世紀
東京・徳川記念財団蔵

陣羽織
黒烏毛揚羽蝶模様
織田信長所用
安土桃山時代・16世紀
東京国立博物館蔵

きものが描かれた国宝の絵画作品

国宝 婦女遊楽図屏風(松浦屏風) 江戸時代・17世紀 奈良・大和文華館蔵
[展示期間: 5月19日(火)~6月7日(日)]



東京国立博物館 平成館
TOKYO NATIONAL MUSEUM (UENO PARK)

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 [東京国立博物館ウェブサイト] <https://www.tnm.jp/>
JR上野駅公園口・鶯谷駅南口より徒歩10分
東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、東京メトロ千代田線 根津駅、京成電鉄京成上野駅より徒歩15分

| [観覧料(税込)] | 当日券 | 前売券 | 団体券 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 一般 | 1,700円 | 1,500円 | 1,400円 |
| 大学生 | 1,200円 | 1,000円 | 900円 |
| 高校生 | 900円 | 700円 | 600円 |

※中学生以下無料 ※団体は20名以上 ※障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などを提示ください) ※前売券は2020年1月29日(水)から4月13日(月)までの間、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、閉館日のみ、閉館の30分前まで)、展覧会公式サイト、各種プレイガイドにて販売。

[裏面] 右上から時計回り: 夏衣薙髪世美人・白木屋仕入の奥布向キ(部分) 喜多川歌麿筆 江戸時代・19世紀 東京国立博物館蔵 [後期展示] 美人立姿図(部分) 江戸時代・17世紀 千葉市美術館蔵 [後期展示] 国宝 婦女遊楽図屏風(松浦屏風)(部分) 江戸時代・17世紀 奈良・大和文華館蔵 [展示期間: 5月19日(火)~6月7日(日)] 重要文化財 摺箔 紅紋縮緬地東裂斗模様 江戸時代・18世紀 京都・友禅史会蔵 [前期展示] 見返り美人図(部分) 慶川節宣筆 江戸時代・17世紀 東京国立博物館蔵 重要文化財 小袖 黒綸子地波鷺模様 江戸時代・17世紀 東京国立博物館蔵 ※展示作品および展示期間は都合により変更の可能性あり。

日本橋 文化庁 beyond 2020
2019年度日本博を奨励とする文化資源コンテンツ創成事業